



シンフォニア通信 第166号

2026年2月

東京都日野市東平山 3-1-19

社会福祉法人 大家族

特別養護老人ホーム シンフォニア

～ごあいさつ～

新しい年を迎え、早くも一か月が過ぎました。

立春を迎えたこの時期は、一年で最も寒さが厳しい頃とされますが、施設周辺では梅のつぼみが少しずつ開花し始め、春の気配も感じられるようになってまいりました。

ご利用者の皆様は、室温が管理された環境の中でお過ごしではありますが、寒暖差や乾燥は体調に影響を及ぼしやすいため、衣類の調整や水分補給、室内湿度の管理など、細やかな対応を心掛けております。ご家族の皆様におかれましても、面会の折には体調面の変化などお気づきの点がございましたら、遠慮なくお知らせいただければ幸いです。

さて、施設では2月3日に節分の行事を行いました。今年も赤鬼、青鬼に扮した職員に向けて「鬼は外、福は内」と元気な掛け声とともに豆まきを行い、一年間の無病息災を願いました。ご利用者の皆様の力強い豆まきの様子に、会場は笑顔と活気に包まれ、春を迎える準備が整ったように感じられました。

また、現在はこれも慣例となっておりますひな祭りの行事(2月28日実施予定)に向けた準備を進めております。季節の移ろいを感じながら、皆様が楽しみにしてくださる行事を大切に、多くの皆さんが経糸や横糸となって紡ぎ合ってもらえることで、ご利用者の生活の中に彩を添え、豊かにそして暖かさを感じられるものにしていきたいと考えております。

加えて、施設では令和8年度の事業計画策定を進めております。昨年度の運営状況やご利用者・ご家族のご意見を踏まえながら、より安心して生活していただける環境づくりと、職員の専門性向上を図る取り組みを充実させてまいります。終の棲家として信頼される施設であり続けられるよう、職員一同努めてまいります。

寒さ厳しき折、皆様におかれましてもどうぞご自愛ください。引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

特別養護老人ホーム シンフォニア
施設長 樫村 正男